

令和3年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

熊本県農業研究センター畜産研究所

令和4年（2022年） 4月

1. 動物実験等に関する実施状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本方針に適合し、適正に動物実験を実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料等 ・動物実験計画書と動物実験実施報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する） 動物実験管理者（各研究室長）が、研究目的、方法、実験の経過について常時監督し、動物実験責任者（畜産研究所長）が計画書および報告書の内容が基本指針・動物実験規程に適合しているか審査し、確認している。
4) 改善の方針、達成予定時期など 特になし。

2. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本方針や家畜の飼養衛生管理基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料等 ・家畜の飼養衛生管理基準の遵守状況自己点検票 ・生産調書、物品需要伝票および不用物品処分調書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する） 各研究室の実験動物飼養保管施設において、国の飼養衛生管理基準に沿った飼養保管が実施され、動物の飼育数、健康状態の把握と状態の確認が行われている。
4) 改善の方針、達成予定時期など 特になし。

3. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ■ 基本方針や家畜の飼養衛生管理基準に適合し、適正に実施している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料等 ・ 農業研究センター（畜産研究所）施設保全計画 ・ R3 動物実験実施報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する） 現状において問題は無く、適切に管理されており改善すべき点はない。 ただし、一部の施設において老朽化が進んでおり、注意を要する。
4) 改善の方針、達成予定時期など 特になし。

4. その他（体制、文書管理、教育訓練等）

1) 評価結果 ■ 基本方針や家畜の飼養衛生管理基準に適合し、適正に実施している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料等 ・ 動物実験指針、動物実験委員会設置および運営規程、動物実験規程 ・ 動物実験計画書、報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する） 令和3年度から指針・規程の本格運用が開始され、特段の改善点は無い。 教育訓練において、新型コロナ流行により定例職員会議における集合研修が開催できず、各研究室での口頭による訓練実施となったため、次年度は状況をみて集合研修の開催が望まれる。
4) 改善の方針、達成予定時期など 特になし。